

# 同時多発的土砂災害を想定した合同演習

～国・県・市が土砂災害時の避難指示発令、応急対策対応などを確認～

～六甲砂防事務所～

関係する国・県・市が連携し、大規模土砂災害の発生、避難指示発令時の対応、応急対策対応など関係機関の危機管理能力の向上を目指した演習を開催しました。

参加者から「大規模災害時には市、県、国などの連携した対応が重要」「避難情報の発信のタイミングに難しさを感じた」などの感想を頂きました。

なお、演習は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施しました。

## 概要

日時：令和3年7月28日（水） 13:00～16:30

場所：生田文化会館 大ホール

演習方法：実践形式を組み込んだ学習型方式

参加機関：近畿地方整備局・六甲砂防事務所・兵庫県・神戸市・西宮市・芦屋市・宝塚市・神戸地方気象台

参加人数：31名（WEB見学は除く）

●台風及び梅雨前線による豪雨により、神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市の各地域で複数同時に土砂災害（土石流、がけ崩れ）が発生することを想定し、ステージ別に情報共有・対応行動などを確認しました。

### ①避難指示発令時における警戒避難対応

- ・高齢者等避難への対応
- ・土砂災害警戒情報の発表

### ②土砂災害発生後の初動対応

- ・土砂災害の通報
- ・土砂災害情報の共有
- ・リエゾンの派遣

### ③監視・観測・応急対策対応

- ・各機関による現地調査の実施・結果の報告
- ・調査結果を受けた行動対応、情報共有

### ④応急対策結果等を踏まえた警戒避難対応

- ・監視観測・応急対策等の分担に関する連絡調整

### ⑤講評

## ～参加自治体担当者の声～

- ・住民に対して災害発生時の避難についての情報を発信しているが、さらに防災意識を高めてもらう方法を考える必要がある。
- ・線状降水帯など予測がつきにくい豪雨が多くなり、避難情報等の発信が難しくなるのが課題である。
- ・情報弱者への情報提供は、わかりやすい対応が重要。

## 演習の様子



実践形式を組み込んだ学習型方式による演習状況



事務所長の開会挨拶



地域河川調整官の講評

## 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
TEL：078-851-0535

